

2023年3月9日
住友電装株式会社

経済産業省が“優良な健康経営を実践している法人”を顕彰する 「健康経営優良法人 2023」に認定

住友電装株式会社（本社：三重県四日市市、社長：漆畑 憲一、以下、住友電装）と、当社グループ会社であるSWS 東日本株式会社（本社：岩手県一関市、社長：田中 欣也、以下、SWS 東日本）、SWS 西日本株式会社（本社：三重県松阪市、社長：佐久間 敦敬、以下、SWS 西日本）の三社は、この度、経済産業省と日本健康会議が共同で顕彰する「健康経営優良法人 2023（大規模法人）」に認定されました。住友電装は6年連続、SWS 西日本は3年連続、SWS 東日本は初の認定となります。



住友電装は、「住友電装グループ健康宣言」（2020年4月1日制定、2021年10月1日更新）において、従業員一人ひとりの健康を「活気ある企業の源」と位置づけ、従業員の積極的な健康づくりを支援しています。

■ 重点取組み事項

- (1)法令遵守：労働衛生三管理の徹底
- (2)健康労働寿命・貢献寿命の延伸（労働力確保）：メタボ改善、受動喫煙対策強化
- (3)健康づくり（啓発活動）：運動習慣改善、従業員のヘルスリテラシー向上

■ 主な健康課題・目標値

(1)肥満

目標値：適性体重（BMI18.5～25未満）維持者 70%以上

⇒2021年度状況 65.2%

(2)運動習慣

目標値：運動習慣保持者率（30分以上/回・週2、1年以上継続実施者） 40%以上

⇒2021年度状況 23.6%

(3)喫煙

目標値：喫煙率 23.0%以下

⇒2021 年度状況 26.2%

■健康課題に対する具体的な取組み内容

(1)肥満解消

①メタボ改善推進

健康保険組合とのコラボヘルスにより、ICT 面談による特定保健指導の実施

②特別健康メニューの提供

アスリート社員（女子ラグビーチーム PEARLS 所属）が考案した特別健康メニューの提供

(2)運動習慣改善

①アスリート社員による啓発

アスリート社員のトレーニングメニュー情報発信、運動習慣改善イベントの実施

②運動啓発イベントの実施

「私の健康宣言実践キャンペーン」、「運動チャレンジカップ」、その他各地区健康課題に応じた「ウォーキングイベント」等の実施

(3)受動喫煙対策につて

①禁煙啓発強化

喫煙者に対して「禁煙サポートメール」を配信する等し、相互協力により禁煙達成につなげる「禁煙ダービー」企画※の実施（2021 年度：参加者 25 名、8 名禁煙成功）

※厚生労働省「受動喫煙防止対策事例（東海・北陸エリア）」でも紹介

https://jyudokitsuen.mhlw.go.jp/example/area5_3.php

②5/31 世界禁煙デーにて全拠点全面禁煙化（関係会社含む）

今後も従業員の積極的な健康づくりを支援し、心身ともに健康な状態で働くことができるよう健康の保持増進に努めます。

以上

—ご参考—

◆健康経営

従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する取り組みを指します。健康経営優良法人認定制度は、従業員の健康保持・増進において特に優良な取り組みを実践している企業や法人を経済産業省と日本健康会議共同で顕彰する制度です。

◆健康経営優良法人認定制度について[経済産業省]

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenko_keiei.html

◆住友電装について

住友電装は1917年に創業し、クルマの中のさまざまな機器をつなぎ、電力や信号をすみずみまで伝える「ワイヤーハーネス」を製造する世界トップクラスの企業です。時代のニーズを先取りする研究開発をベースに、カーメーカーをはじめとするお客様の期待に応えて、自動車用ワイヤーハーネスのほか、エレクトロニクス製品、ハイブリッド車・電気自動車用製品などの幅広い製品群を展開しています。これまでに培ってきた「つなげる、つながる」技術を活かしてもっと安全に、もっと便利に、もっと環境にやさしい次世代のモビリティ社会に貢献していきます。